

酷暑・地震・水害・世界各地での戦争など心ざわつく日々。地域では、高齢になって、ご苦労なさっている方が増えている。多くの人が「できる時にできることを」でささえあっていけたらいいとの思いで活動を続けた。

朝5時、4人がささえあいの家集合、草とりに向かう。依頼者には、朝早いから、勝手にやらせていただくから、起きて来ていただかなくてもいいと伝えていたが、骨折で何か月も入院なさった身で、起きてきてくださった。近所に迷惑がかからないように、おしゃべりせず作業。終わってお茶をいただきながら「5時からの作業で正解だったね」と言う仲間。こんな前向きな人がいて、この活動は成り立っている。

今年の大きな出来事の一つは、盆踊りを盛り上げる一翼を担うことができた。アルミ缶風車のプレゼントや輪投げ、そして、櫓の中心円で乱舞する子どもたちの胸にケミ蚩のネックレスが光っていた。バルーンアートも風船が倍必要だったと大盛況。新春のつどいでも、多くのメンバーが餅つきに参加して楽しみ、その上、この催しは今後も実施すべきと語りあった。

もう一つは、夏・秋・春休みにこども特別企画を実施、ピザパーティー等多くの参加があった。保護者も大いに協力していただいた。

今年は他団体との協働を心がけた。災害に備える勉強会は、自治会と共催、落語会はシニアクラブ・いこいのつつじ・近隣ケアグループと共催できた。今後もこのように力を合わせてのまちづくりを進めたい。

初めてささえあい活動を申し込みされた方の家に、行った。「今までは庭の管理は自分でできた。だが足が悪くなって医者通い。もうささえあいの方に頼むしかないと思った。80歳になってこれからどうなることやら心配だけど、ささえあいがあるからいいかと思っている」と話された。同じようなことを言われる方が何人もおられるようになった。2025年問題の解決の一助になっていると思う。

また今年度は事例発表の機会が多かった、地区・市・県社協で、そしていくつものフォーラムに誘われて。またコロナ禍で減っていた視察がぐんと増えた。ある視察者は「ここは、自分たちがやろうと思っていることを、すべてやっている」と評した。また市議会でも、当会の活動について議論された。これも初めてのこと。フォーラムに参加し当会話を聞いた市外の方が、親を八木山地区に住まわせたいと言って来た。家を紹介した。5月に入居とになった。

「どうしようと思ったとき、駆け込めるところがあるって本当にありがたい」と。この言葉も何人もの人が言う。「依頼するとすぐ解決してもらえた」このような思いが地域に広がっているを感じる。

このような期待に応えられる「ささえあい」を維持していかなくてはと言うことを、社協内外のみんなと共有している。また、活動者の資質向上のために、あちこちの研修会に参加もした。

ささえあい八木山バスの定期運行の利用者、また配食の利用者が、施設入所、入院、そして亡くなる等で減ってきている。地域はいよいよ困難な暮らしの方が増加している。「ささえあい」をさらに充実しなくてはならない。誰もが自分ごととして「できる人が・できる時に・できることを」しよう。

今年度、自治会・損保福祉財団・市の助成を受けることができた。これもばねに活動を発展させたい。

## 事業1 ささえあいサロン活動

参加者

講座／回数	参加数	講座／回数	参加数	講座／回数	参加人数
PCスマホ相談 23	175	作って食べよう 43	381	インターネット 9	34
囲碁・将棋 86	218	体リセット 3	7	しょうがい相談11	16
ガーゼハンカチ作12	42	包丁研ぎ 12	19	認知症茶話会 10	64
絵手紙 11	42	すみれの会 12	50	公園で絵を描こう2	9
川柳 9	30	オカリナ 5	35	ささえあいスクール 59	105
大江さん手芸 3	12	立ち寄り・会話（随時）	71		
クリスマス飾作り1	10	正月飾り作り 1	7	ごきぶり団子 1	4
オカリナ演奏会1	34	偲ぶ会 1	7	井口先生介護講和1	9
当番 235日	561				
子ども企画					
朗読 1	7	カレーパーティ 1	51	たこあげ 1	10
夏休み子ども企画3	98	春休み子ども企画 3	86		
小計	1229		714		251
合計					2,194

サロンは地域のみなさんが会いつながるための場、みなさんの力や持ち味を活かしていただく場です。

\*「作って食べよう」はできる人が調理をし一緒に会食をとという取り組みで、送迎支援により歩行器で参加される人もあり、貴重な交流機会となっています。虚弱な家族のためにと配食を希望するケースも増加しています。

\*「囲碁・将棋」は週2回の定例会以外にも、同好の仲間ともっと楽しみたいと随時来所され、貴重な「居場所」ともなっています。今年度新たな定例開催として「川柳」「オカリナ」が定着し、「大江さんの手芸」も始まりました

\*さまざまな趣味創作活動、認知症やスマホ、インターネットの学び、近隣の方々の交流や相談などが定着し、ちょっとした「立ち寄り」で交流を楽しむ方も増えています。

\*地域の宝である子どもたちへの支援として「ささえあいスクール」を継続していますが、春休みや夏休みの楽しみの場として「たこあげ」「チュロスやアイスクリームなどおやつ作り」「カレーパーティ」「クレープ」

「蒸し菓子」「ギョーザ皮アップルパイ」を企画し、親御さんや家族も含め多くの参加者で活気づきました。

\*高齢化・虚弱化が進む中、新たな広がりをもどのように築いていくかが大きな課題となっています。

またサロンを支える「当番」の担い手や若い方々の参加協力を促していきたいです。



活動通信R6.4月号 活動通信R6.5月号

	R6.2/1~2/29	R6.3/1~3/31	R6.4/1~4/30	R6.5/1~5/31	R6.6/1~6/30	R6.7/1~7/31	R6.8/1~8/31	R6.9/1~9/30	R6.10/1~10/31	R6.11/1~11/30	R7.12/1~12/31	R7.1/1~1/31	R7.2/1~2/28
活動項目	30項目	34項目	49項目	47項目	49項目	44項目	45項目	48項目	50項目	47項目	48項目	48項目	38項目
A:活動数	146回	154回	184回	160回	184回	168回	210回	185回	197回	154回	181回	206回	128回
B:延べ活動者数	181人	199人	240人	227人	240人	220人	254人	254人	183人	221人	247人	195人	166人
C:利用者数	227人	232人	258人	239人	258人	269人	245人	287人	321人	208人	211人	206人	180人
A+B+C 合計数	554	585	682	626	682	489人	499人	541人	504人	429人	458人	406人	346人

主な活動項目	活動者数	利用者数	活動者数	利用者数	活動者数	利用者数	活動者数	利用者数	活動者数	利用者数	活動者数	利用者数	活動者数	利用者数	活動者数	利用者数	活動者数	利用者数	活動者数	利用者数	活動者数	利用者数	活動者数	利用者数			
ゴミ出し	55	55	64	64	64	64	65	65	64	64	68	68	67	67	64	64	64	64	64	64	64	64	64	58	58	49	49
雨戸の開け閉め	42	42	31	31	30	30	20	20	30	30	—	—	—	—	3	2	12	12	5	5	10	10	14	5	—	—	
家事支援	7	7	9	7	10	7	10	7	10	7	10	7	13	9	10	7	10	7	12	8	10	7	9	6	10	7	
剪定、腐木伐採	3	1	8	2	1	1	18	4	1	1	3	2	—	—	13	6	23	4	4	2	8	5	8	8	8	8	
公園トイレ掃除	5	5	4	1	9	9	8	8	9	9	9	9	8	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	8	8	8	8
配食	14	47	16	51	16	57	15	62	16	57	16	57	14	64	16	64	16	57	16	57	8	32	15	52	15	54	
草取り、草刈り	3	1	4	1	6	1	12	3	6	1	17	4	10	9	28	7	9	2	8	3	13	2	—	—	—	—	
個別移送	8	8	8	8	8	8	21	21	8	8	15	16	23	26	11	3	30	30	—	—	30	30	—	—	—	—	
八木山バス	8	34	10	39	9	28	11	46	9	28	13	53	9	37	5	5	1	1	1	1	4	4	—	—	—	—	
包丁研ぎ					3	3	2	3	3	3	1	1	2	2	1	1	7	6	2	1	4	3	—	—	—	—	
障子、ふすま張替え					3	3	3	3	3	3	—	—	3	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14	5	7	7
他																								34	26	—	—

### 事業3 ささえあい移送

#### 八木山バス

令和3年11月の運行開始以降、

- ・買い物ツアー（平和堂行き）→ヤマワ及びイオンは個別移送で対応
- ・ノルディックウオークエクササイズ（自然遺産の森、一宮さくらの里公園など）に活用
- ・イベント・企画ツアー（福祉講演会、県福祉大会、大学での講演等）

累計運行回数239回 延利用者数1,665人。

買い物バスでは、公共バス停までは遠い、また急な坂道の方々の利用が多い。介助員は重い米などを玄関先まで届けて、大変喜んでいただいている。

		R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	累計
買い物ツアー送迎	運行回数 回	50	60	51	161
	利用者数 (延べ) 人	458	344	420	1222
ノルディックウオーク送迎	運行回数 回	12	18	22	52
	利用者数 (延べ) 人	60	89	100	249
イベント・企画ツアー送迎	運行回数 回	2	3	6	11
	利用者数 (延べ) 人	12	52	28	92
関係団体活動送迎	運行回数 回	6	5	4	15
	利用者数 (延べ) 人	38	40	24	102
計	運行回数	70	86	83	239
	利用者数 (延べ)	568	525	572	1665

#### 個別移送

- ・個別の申し込みに応じて移送  
ほとんどが医療機関への移送 単に送迎のみならず病院内でのサポートも実施している。  
今年度は毎月20～30名が利用している。
- ・個別移送が住民の方々に周知されたこと、今夏は酷暑が続いた等の理由で利用者がかかり増えつつある。
- ・ささえあい移送についてより多くの人に知ってもらうために、全自治会の組長会・班長会に参加し、利用促進を図った。

#### 時刻表の発行

- ・ふれあいバス、岐阜バス、八木山バス、JR及び名鉄の近隣駅の時刻表を記した小冊子を作成し、利用者に提供している。

#### 「チョイソコ」の利用方法講座の開設

- ・「チョイソコタクシー」の申し込み方法、便利な利用方法等を紹介する講座を開設した。またいつでも利用に関する質問に応じている。

#### 車いすの貸出

- ・車いす、今年度は「選挙に利用する」「お出かけ」などの理由で3件の利用があった。



## 事業4：ふれあい子育て ～子育て等若年層向け活動～

(1) 春・夏・秋休み子ども企画としてお菓子作り・カレーや焼きそばパーティー実施



(3) 放課後学習（ささえあいスクール）を週2回実施している。大学生を含む講師3人が昼の部；小学生5人、夜の部；中学生1人小学生1人をマン・ツーマン的にふれあって対応してる。

(2) 盆踊り協賛アルミ缶風車・ケミ蚩つきネックレス・輪投げ・バルーンアート



## 事業 5「ささえあい畑・フードバンク部会」

栽培面積の拡大に伴い土壌改良、摘心、誘引、管理栽培のため、いい作物が出来るようになってきました  
自動散水等、部員全員で力を合わせ楽しく作物の栽培が出来るように努めてまいりました。

おかげ様で多くの収穫物が『配食』と、火曜日の『つくって食べよう』で大いに活用されています。  
地域の方々との交流の場ともなっていけるようにこれからも畑を通じて、ささえあい、たすけあい、皆で楽しみ  
ながら収穫をしていきたいと思ひます。（一緒に心も畑も耕してくれる方、募集中です。元気な高齢者 OK!!）



土壌改良



トウモロコシ



芋の収穫



獣害対策



自動散水



残渣処理



カラス・鳥対策



## 事業6 フレイル予防活動

今年度は、部会名をフレイル予防部会と改め、活動して参りました。フレイル予防は、老若男女を問わず、運動・栄養・社会参加の3つのポイントを継続しながら、快適な生活を送るための一手段です。

フレイル予防活動の普及として、はつらつ八木山マルシェの開催及びノルディックウォーキング活動を推進して参りました。

### 1) はつらつ八木山マルシェの開催

毎月第一土曜日13:30～、鶴沼地区体育館で八木山地区内外の方々のお力をお借りして開催しました。①理学療法士によるフレイル予防講座&個人にあったアドバイス、②足指筋肉トレーニング&足指・頭(脳トレ)を使ったボールゲーム、③心も指先もきらきらネイルケア、④正しい姿勢をケアするカイロプラティック、⑤有酸素運動で健康力アップ!ノルディックウォーキングワークショップ、⑥ベジチェック・血管年齢測定(明治安田)、⑦血圧測定(まちの保健室)、⑧骨密度測定(みどり病院)、⑨パタカラ体操、⑩軽スポーツ(カローリング・ガラッキー・ラージボール卓球など)など毎回盛り沢山の内容で楽しんで頂きました。参加頂くことで、運動・栄養・社会参加のきっかけ作りになったのではないのでしょうか。

#### 2024年度 はつらつ八木山マルシェ参加状況

参加者	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1回目	39	12	8	3	0	2	5	8	8	1	2
2回以上		17	13	20	0	16	15	21	19	14	17
総数	39	29	21	23	0	18	20	29	27	15	19
累積総数	39	68	89	112	112	130	150	179	206	221	240

屋内活動のため、天候はあまり気を遣わずに楽しめましたが、さすがに夏場は冷房設備もないことから9月の開催は、熱中症アラートも参照し、急遽中止としました。当日のお知らせということもあり、会場まで足来てくださった方にはご迷惑をおかけしました。次年度の課題と致します。

### 2) ノルディックウォーキング活動

#### ①ノルディックウォーキング講習会

今年度は、6月に講習会を自然遺産の森で行いました。受講者の希望により、早朝6時からの開催となりました。時節柄熱くなり始めた時期でしたので、早朝のノルディックウォーキングは心地よく、自然を満喫できました。また、毎週行っているノルディックウォーキングクラブの中でフォローアップ指導もして頂きました。

#### ②ノルディックウォーキングクラブ(毎週月曜・木曜 90分)

講習会を受講した後、継続して行うのもなかなか難しいものです。クラブ化し、「ひ

とりじゃなかなか続かない」、「皆で歩けば楽しいね」とご賛同頂いた皆様にご参加頂いています。毎回お天気と睨めっこしながらの屋外活動ですが、季節の変化を楽しみながら、日乃出不動・緑苑半ノ木洞公園～緑苑西公園・翠池～松が丘6・7丁目または支援学校までの往復・白山神社～ほたるの里～里山・八木山際道など八木山地区界隈をノルディックウォーキングしています。毎回、3～11名程度参加して、楽しい時間を過ごしています。前年度より恒例となりました月1回の「お出かけノルディックウォーキング」では、各務原市浄水公園、フラワーパーク江南、川島環境楽園オアシスパーク、一宮市桜の里・大野極楽寺公園&138タワーパークなど、八木山バスを利用して、いつもと違う景色を楽しみました。屋外活動の難点は、天気と気温です。夏場(6～9月)は木陰を求め、自然遺産の森へも八木山バスを利用して出向きました。雨雲レーダーや熱中症警戒アラート(7～9月)を活用しながらの活動となりました。また、8月の夏休みや12月23日～1月10日の冬休みも設け、この間は個人練習としました。「継続は力なり」、皆さんの体力維持が期待されます。

2024年度ノルディックウォーキングクラブ参加状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実施数	9	6	8	2	0	4	7	9	6	6	6	6
参加者	63	42	57	12	0	11	33	52	43	31	32	35
総数	63	105	162	174	174	185	218	270	313	344	376	411

(R7.3.27現在)

### 3) フレイル予防普及活動

はつらつ八木山マルシェ等のご案内は、まちの福祉便りささえあいに毎月掲載し、また、開催の前にはご案内のピラを戸配させて頂きました。ノルディックウォーキングの講習会は随時受け付けています。なかなか普及することが難しいですが、今後も継続して参ります。ノルディックウォーキングは、お子様も参加可能です。ポールを使って歩くことで、姿勢もよくなり、歩幅も広がり、ハードな運動よりもソフトな有酸素運動です。毎朝のウォーキングにポールを使ったノルディックウォーキングを加えて、坂のまち八木山で益々お元気にお過ごし頂ければと願っています。

### 4) 次年度計画

#### ①「はつらつ八木山マルシェ」の継続開催

2024年度の認知度を高めるために、実施時期を第1土曜日 13:30～15:30に固定します。会場は、つつじが丘ふれあいセンター(5月)、かかみがはら支援学校体育館(6～9月)、鵜沼地区体育館(10～3月)の3箇所となりますが、かかみがはら支援学校体育館は冷暖房完備ですので猛暑の中でも快適な時間を過ごせるでしょう。各々の会場へは八木山バスをシャトル運行します。老若男女を問わず、地域の皆さんが此処で健康に関する情報(体操・健康レシピ)やためになるミニ講座を聞いて学ん

でいただく、時節に合わせたイベントを企画し、短時間ではありますが、楽しんで頂くことを目的とします。

健康面だけではなくありません。DIY のマテメソ講座、もしかしたら得意技のお披露目コーナーなどもあるかもです。この八木山で楽しく暮らせるまちづくりのお助けになることを期待し、活動していきます。ご期待下さい。

## ②市によるフレイル予防

これまでに受検して頂いた方を中心に 10 月のはつらつ八木山マルシェで市によるフレイルチェックを行います。

## ③ノルディックウォーキングの継続

### a. ノルディックウォーキングクラブ活動

- ・毎週月曜・木曜の午前中（八木山地区界限 90 分）の実施
- ・月 1 回の「お出かけノルディック」の企画
- ・「なんちゃって企画」の実施

### b. ノルディックウォーキング講座

- ・年 1~2 回講座の開催

以上、微力ではありますが皆さんがいつまでも健康で、笑顔あふれる楽しいまちづくりのお手伝いのできればと考えております。主役はあなた自身です。



初めての体験 カローリング



骨密度測定 だいじょうぶかなあ



バスを使って お出かけノルディック

## 【活動Ⅱ】学びあい・語り合いの推進

### (1) 先進事例などの視察・研修

	月日	テーマ	視察先・主催者	参加人数
1	4月19日	スマホ体験	市社協	1人
2	4月26日	自治会連合会長・地区社協 合同会議	市社協	2人
3	5月24日	会長・福祉推進員研修	市社協	9人
4	6月13日	日本老年医学会学術集会	ウインクあいち	4人
5	6月22日	“Well-being for All” の実現に向けて	日本福祉大学	1人
6	7月8日	全国交流フォーラム	さわやか福祉財団	1人
7	9月9日	スマホ講座	当会	14人
8	9月19日	我がまち茶話会 防災	市社協	1人
9	9月23日	引きこもりを理解する研修会	市社協	1人
10	10月15日	いきがい・助け合いオンラインフェスタ	さわやか福祉財団	1人
11	10月16日	福祉フォーラム	県社協	9人
12	10月19日	福祉プチフォーラム	地域と協同の研究センター	9人
13	10月31日	信友直子講演会	県社協	13人
14	11月5日	移動サービス研修会in岐阜	NPO全国移動サービスネット	2人
15	11月21日	認知症になっても誰もが安心して暮らせるま ちに 講演会	市高齢福祉課	9人
16	1月16日	生活支援活動団体情報交換会	県社協	5人
17	2月11日	災害時の医療介護フォーラム	ふるさと福祉村	1人
18	2月22日	東海交流フォーラム	地域と協同の研究センター	1人

### (2) 福祉座談会・講演会

	日時	題名	参加人数	場所
1	9月9日	老々介護を語り合おう	11人	ささえあいの家
2	10月13日	理事・評議員・他拡大懇談会	26人	つつじが丘 ふれあいセンター
3	12月15日	災害に備える学習会	49人	つつじが丘ふれあ いセンター

### (3) 大学等での講義・講演

	月日	対象	講座名	講師	参加人数
1	4月27日	緑苑地区社協	ささえあい活動	7人	30人
2	4月29日	名城大学法学部	ボランティア入門	2人	310人
3	5月24日	地区社協会長・福祉推進員研修	ささえあい活動	7人	34人
4	5月25日	さわやか福祉財団取材受け入れ	ささえあい活動	8人	9人
5	6月14日	中部学院大看護学部	地域包括ケア	2人	80人
6	6月26日	英国大学教授	地域のつながり	8人	3人
7	7月9日	日本福祉大	地域包括ケア	6人	18人

8	7月22日	JA愛知「地域ささえあい大学 校」	ささえあい活動	7人	30人
9	8月13日	市社協実習生	ささえあい活動	5人	3人
10	10月16日	福祉のまちづくりフォーラム	ささえあい活動	9人	150人
11	10月19日	プチ福祉フォーラム	ささえあい活動	10人	8人
12	10月22日	名城大学人間学部	ボランティア論	2人	158人
13	11月13日	尾張旭市社協	ささえあい活動	9人	28人
14	11月25日	損保ジャパン	ささえあい活動	5人	3人
15	11月26日	三重地域懇談会三重のつどい	ささえあい活動	9人	4人
16	1月8日	中部学院大看護学部	ささえあい活動	70人	2人
17	2月17日	やなマルシェ	ささえあい活動	11人	31人
18	2月19日	可児市桜が丘社協	ささえあい活動	11人	33人
19	3月1日	中部学院大看護学部	ささえあい活動	1人	40人

話を聞いてもらうことで、活動の意義などを改めて考えることができた



## 【活動Ⅱ】 連携と協働の推進

### 協働1 松が丘&つつじが丘連自治会

地域住民に対する活動は、両自治会(まち協)と社協が車の両輪と考えている。

#### (1) 自治会役員と地区社協役員への就任

本年度からは、連自治会長の地区社協会長への就任がなくなった。副会長には役職に就任をいただいている。そして自治会役員会で理事会便りをもとに報告していただいている。

#### (2) 地区社協発行物の回覧、各戸配布

毎月発行の”福祉便り”の配布等協力いただいている。

#### (3) 社協の活動をわかっていただくために組長会・班長会に時間をいただいて説明

#### (4) 施設利用(コミセン、ふれセン、集会所)

理事会はリモート併用のため、Wi-Fi環境のあるつつじが丘集会所を利用させていただいている。

#### (5) 業務委託、請負

松が丘連自治会・・・ドアクローザー取り換え、公園のトイレ清掃・鍵・蛇口修理  
つつじが丘連自治会・・・ふれあいセンター エアコン調整 非常灯取り換え  
蛇口の調整 厨房の棚開閉調整

### -6 盆踊り協賛事業



#### (7) 災害に備える学習会を両自治会と 新春大爆笑落語会を各種団体と共催

### 協働2 まちづくり協議会

八木山まちづくり協議会の催しの中で、ささえあいの輪が 広がる活動の実施。

9月22日 八木山フェスタ 水 Rocket・バザー・まちの保健室・作品展実施

1月12日 新春のつどい 23人が餅つきボランティア参加

### 協働3 松が丘パソコンクラブ 次の事項について、協力をいただいている。

#### (1) 地区社協ホームページの運営管理

#### (2) スマホ、パソコン相談会

#### (3) 動画・フェイスブック立ち上げの協力

### 協働4 その他、地域内外の団体との連携

・NPO地域と協同の研究センターで講演等各種会合に参加、学習の機会としている  
近隣がグループ代表をはじめ、地域18団体の代表者の方に地区社協評議員に就任して頂き、情報の共有を図って、課題解決に向けて、連携を図っている。また、アドバイザーの市社協、日本福祉大学の江原先生からは、各種会議で助言をいただいている。 清水強さんからの年間を通しての野菜提供にも感謝  
:市まちづくり推進課の「地域活性化シンポジウム」に参加

- ・イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンに参加





## 【運営Ⅲ】活動資源の開発・整備

地区社協の活動に関する情報の整備・拠点整備・地域内外の人財発掘・資金開発などを推進しています。

### 開発1 情報通信技術やソフトの活用と普及

#### (1) 地区社協ホームページ

毎月、ホームページの内容を更新して地域の状況や活動の最新状況を動画も含めて掲載しています。

①お知らせ ②地区社協のスケジュール ③八木山地区の自然・成り立ち・住民統計 ④地区社協の概要 ⑤地区社協の出張事例発表・視察受入れ ⑥活動部門の内容 ⑦月刊広報紙(まちの福祉便り・ささえあい活動通信) ⑧地域の福祉関連団体紹介

#### (2) LINEによる情報共有・交流

その都度、LINEによる情報共有を活発に行い活動の効率化や活動者同士の交流を行っています。

①ノルディッククラブ 24名 ②ノルディック事務 5名 ③フレイル予防部会 9名 ④インターネット活用講座 14名 ⑤ささえあい活動の事務・会計 10名

#### (3) 情報通信機材の更新など

ささえあいの家開設の際に購入したデスクトップパソコンを最新鋭のタイプに更新し、旧型を含めて2台設置としました。又、脳トレゲームやフレイルチェックや各種勉強会に利用する目的にタブレットを4台購入しました。

### 開発2 自主的な資金開発

#### (1) 自主的な資金の内容

①ささえあいの家募金箱 ②アルミ材収集 ③バザー ④視察有料受入れ ⑤お米販売 ⑥出張講義 ⑦個人の寄付 ⑧所有車貸付け ⑨ささえあい活動や各部門の活動収入 ⑩委託業務(公園トイレ清掃) ⑪イオンの黄色いレシート登録

## (2) 自主的な資金開発 10 年経過

単位：千円

年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	累計
①収入（②+③+④+⑤）	3,711	4,431	4,595	6,195	8,321	4,610	3,548	3,520	3,449	4,203	46,583
②市社協交付金 （市社協会費の40%）	340	338	328	321	300	306	297	260	272	274	3,036
③市社協の助成金	3,347	3,669	3,404	4,525	6,763	3,115	1,549	1,358	1,572	1,881	31,183
④自治会・各務原市 他団体等の助成金	0	0	0	0	0	0	253	260	260	560	1,333
⑤自主的資金	24	424	863	1,349	1,258	1,189	1,449	1,642	1,345	1,488	11,031
⑥自主的資金比率	1%	10%	19%	22%	15%	26%	41%	47%	39%	35%	24%

※今年度市社協助成金以外に 松が丘連合自治会 260,000 円 S O M P O 福祉財団 300,000 円を受けることができたので自主的資金の比率が低下しました。

## 開発3 自主的な資金の運用

## (1) 有償基準の設定

今年度、地区社協活動の参加者（利用者+活動者）が年間延 10,000 人を超えるようになり地域に知られるようになってきましたが、活動者が高齢化する中で 10 年後も活動を継続するためには新たな担い手の発掘と定着が欠かせないとして有償ボランティアの制度を順次開発してきました。

## &lt; 設定経緯 &gt;

- ①2017・9 理事会 有償基準A：謝礼付有償ボランティア活動
- ②2022・1 理事会 有償基準B：障がい等で未就労の人の活動
- ③2022・5 理事会 有償基準C：私有車使用の活動
- ④2023・3 理事会 有償基準D：巡回バスの運転者・介助者
- ⑤2023・5 理事会 有償基準E：新任の会計
- ⑥2024・4 理事会 有償基準F：剪定・草取り
- ⑦2024・4 理事会 有償基準G：よりそい活動
- ⑧2024・4 理事会 有償基準H：アルミ材収集スタッフ
- ⑨2025・1 理事会 有償基準F：剪定・草取り 見直し
- ⑩2025・1 理事会 有償基準G：よりそい活動 見直し

## (2)有償基準の資金経緯

<年度別有償費の推移>

※ 2024 年度 8 ヶ月分

	2021	2022	2023	2024
有償基準 A：謝礼付有償ボランティア活動	1,196	1,528	2,658	2,309
有償基準 B：障がい等で未就労の人の活動	5	19	16	14
有償基準 C：私有車使用の活動	0	192	166	151
有償基準 D：巡回バスの運転者・介助者	0	85	154	114
有償基準 E：新任の会計	0	0	300	360
有償基準 F：剪定・草取り 加算	0	0	0	450
有償基準 G：よりそい活動 加算	0	0	0	232
有償基準 H：アルミ材収集スタッフ	0	0	0	50
有償費合計	1,201	1,824	3,294	3,680

### 開発 4 人財の発掘と定着 今年度の重点

地区社協の活動の新たな担い手の発掘と定着のために、以下の方策を実施してきました。

新たな担い手発掘 A：企業や他団体との協賛

新たな担い手発掘 B：有償化メニューの開発

新たな担い手発掘 C：事務作業者の役割分散

①作業分割 ②分割区分の新任者募集

③情報通信技術やソフトの活用

新たな担い手発掘 D：1 年交代の自治会との連携・協働

## 【活動Ⅴ】 広報の強化

～つながる・ささえあう～を地域全体に広めるため

	種別	内容
1	ホームページアップロード	活動状況・活動参加呼びかけ
2	月刊 まちの福祉便り ささえあい活動通信	地域の実情・活動状況 ささえあいサロンスケジュール 自治会の協力で全戸配布
3	掲示板の運用	まちの福祉便り 地区16か所に掲示
4	ささえあいの家の掲示版活用	折々の催し参加呼びかけ
5	ちらし作製・配布	催しごとに作製し、配布
6	さわやか福祉財団の「さあ言おう」の掲載文	転載冊子配布（自主的に作成いただく）

ホームページ運営 —地区社協の活動を地域内外に発信—



## 八木山地区社会福祉協議会



更新日8月27日

### 困りごと

困りごとは、“ささえあいの家”（☎058-377-3400）にご相談ください。

安否確認、部屋の掃除、買い物代行、病院付き添い、ゴミ出し、不燃物・粗大ゴミ出し、他

※時間がかかること、技術を要することは有料です。その都度、見積額を提示して実施します。

名前、住所、連絡先を書いたメモを、ささえあいの家に投函してください。

### お知らせ

2024/9/22 八木山フェスタ 水ロケットを飛ばします。夢小屋代表片岡鉄雄さん指導です。

25名限定です。申し込みをどうぞ